

# 山行報告書

作成:2011年5月22日

愛知岳連 岡崎山岳会

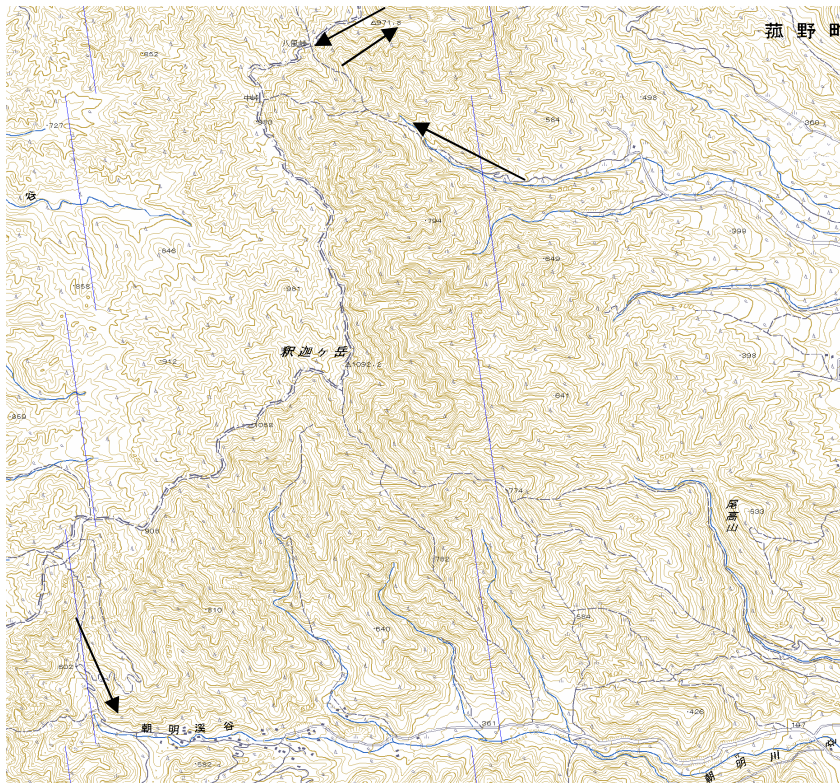
山名[山域]	三池岳 971m 釈迦岳 1092m[鈴鹿]	目的[方法]	お花見山行
期間	2011年5月14日(土)	形態	日帰り周回ハイキング
参加人数	5人		

## 行動記録:

◇5/14(土) 晴天、微風、汗ばむほどの暑さ

内田宅(5:00) ==0:10== 岡崎 IC(5:10) == 四日市 JCT ==湯ノ山 IC(6:00) == (コンビニ 0:10) =0:25== 八風登山口 PKG(6:35,6:50) --1:00-- 中峠分岐(7:50) --0:50--八風峠 (8:40 9:00 三池岳往復)--0:30--中峠分岐(9:30)--仙香池(9:45 10:00) --0:45--赤坂谷分岐(10:45 10:55) --0:20--釈迦ヶ岳(11:15 12:00)--0:20--猫岳(12:20)--1:40--羽鳥峰(14:00 14:20)--1:00--朝明ヒュッテ P(15:10 15:45) == 八風登山口 PKG(16:05 16:20) =0:30=湯ノ山 IC(16:50) ==1:00== 岡崎 IC(17:35) ==0:10==内田宅(17:45)

## 概念図:



シロヤシオ



日誌:シロヤシオの開花を期待して出かけた。岡崎を 5:00 に出発すると車も少なく1:30 ほどで八風の登山口まで行く事ができた。鈴鹿は近い。登山道は、数年前の豪雨で荒れており、寸断されているが道はそれなりについていた。八風峠のシロヤシオはつぼみ。1 週間後には開花であろうと思われた。三池岳頂上まで往復するが、風が強い。しかしながら、春の鈴鹿の山なみは美しい。花が咲いてないと、山行のピッチが上がり予定より相当早く仙香池まで行く事ができた。途中、シロヤシオの群落がつぼみを膨らませて続けている。花時を逃すと、ただの木々であるがつぼみをつけた木々たちは、とても初々しく見える。花巡礼の楽しみはこんな所にあるのかと共感する。こまめでないとできない。写真撮影の時間が少ないせいか、釈迦岳には 12 時前に着いてしまった。頂上付近で、昼食を摂る。ちょうどそこに三岐鉄道のツアーの御一行が団体で到着。総勢 140 名余りであるが、体力差で三々五々に頂上に到着してUターンしていった。頂上から猫岳までは、中日新聞の旗がポイントポイントに付けられにぎやかであった。

猫岳から下った所で、先頭のKさんが、尾根コースで羽鳥峰まで行こうと提案、続いた。読図しながら峰を歩く。地図のわずかな曲がりを読みながら歩くが、方向が途中であやふやになり、少々心配。少し下ったところで愛知川への道に合流する。さすが、鈴鹿を庭にしているお姉さまたちだと敬服する。その後は、時間も押していたので、中峠、根の平峠には行かず朝明Pに下る。満開のシロヤシオを見に、また近いうちに来ようと思う。その後は、渋滞もなく高速をひた走り、6時前には自宅に到着をする。

感想:鈴鹿は近い。もっともっと通いたいと感じた。夏山登山訓練に向け鈴鹿に通った昔を思い出した。花追い娘達の山の楽しみ方をおすそ分けしてもらった楽しい山行であった。